

V-TOP ONE COMPONENT MILD

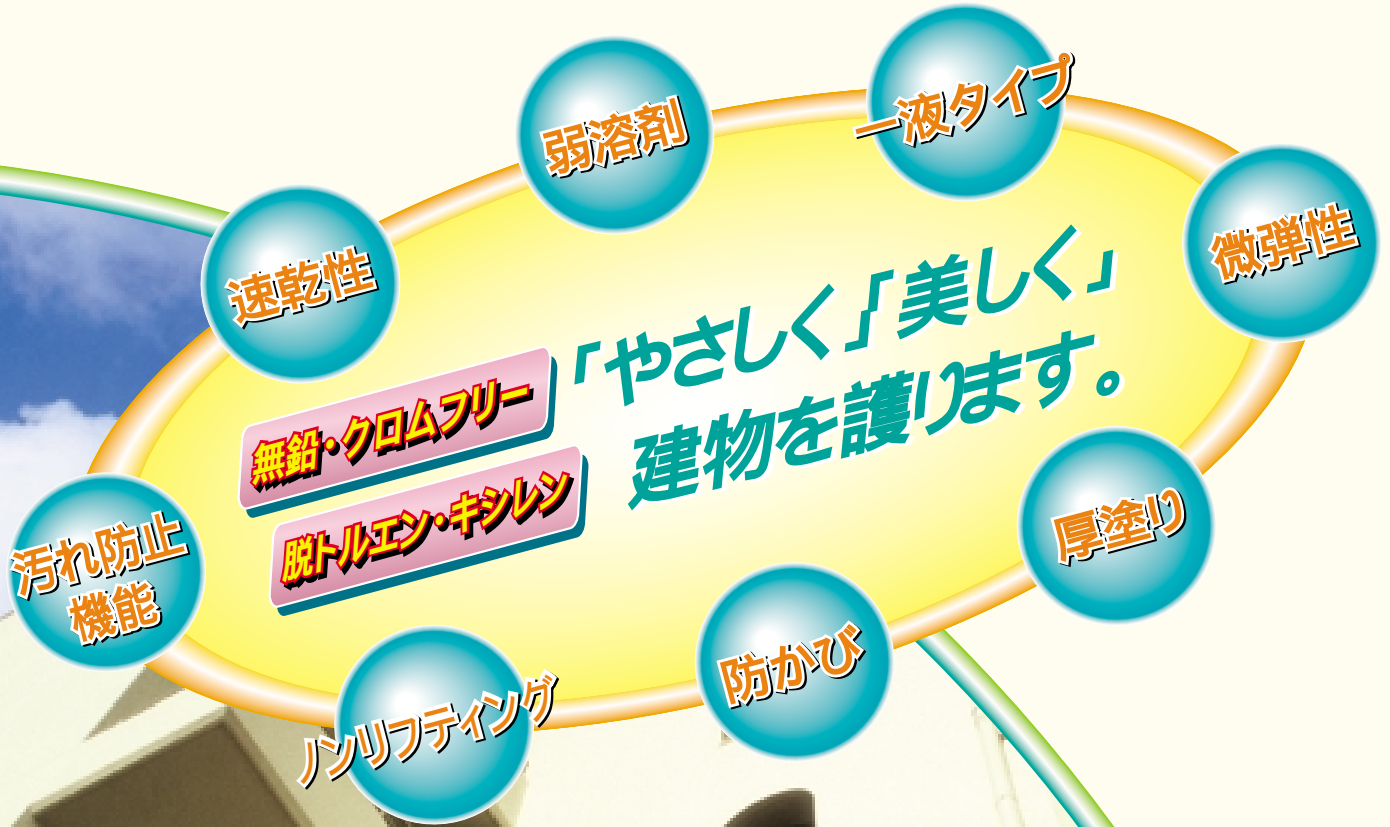


弱溶剤一液反応硬化形ウレタン樹脂塗料

F

# Vトッパー一液マイルド

JIS A 6909 複層塗材 E 耐候性2種



大日本塗料株式会社

# 三拍子そろった一液ウレタン

やさしく

## 1. 人と環境にやさしい

有害な鉛・クロム・キシレン・トルエンを使用していないため、安全です。

## 2. 臭いが少ない(弱溶剤)

希釈剤が塗料用シンナーのため、シンナー臭が少なく、塗装作業時の安全衛生が確保されます。

美しく

## 1. 優れた耐候性

ウレタン樹脂のもつ長期光沢保持性や耐久性を持っています。

## 3. 微弾性タイプ

微弾性樹脂の配合により、細かいクラックに追従します。

## 2. 汚れにくい

セラミックの配合により、優れた耐汚染性を有しています。

## 4. 防かび・防藻

最新のバイオ技術でかび・藻の発生を防ぎます。

塗りやすく

## 1. 一液タイプのウレタン

二液のウレタンの性能に加え、作業性を大幅にアップしました。

## 4. 厚塗りタイプ

厚塗りしてもダレにくい設計にしています。

## 2. ノンリフティングタイプ

特殊配合により、塗装時に起こりやすいリフティングの山が発生しません。

## 5. 幅広い素材適用性

下塗り塗料との組み合わせにより、あらゆる素材に密着が可能です。

## 3. 速乾・工程短縮タイプ

塗り重ね可能時間が2時間(20分)と短く、1日2コートが可能でコストダウンがはかれます。

# Vトッパー液マイルド

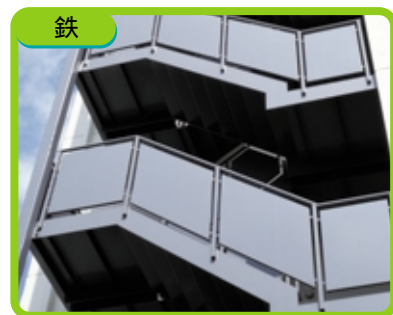
**容量** 15kg、4kg

**色・つや** 白、淡彩色、濃彩色・各つや

**用途** 建築物のコンクリート・モルタル・各種ボード・鉄部等の、新設及び塗り替え

壁面はもとより、ドア、手すり、などの鉄部や、更に巾木などの木部、雨樋などプラスチック 硬質塩ビ 先塗装可能です。そのため効率的で塗装がスピーディーになります。

上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。



## 各種素材への適応性

素材	・モルタル ・コンクリート ・スレート	・木毛板 ・石膏ボード	・木部	・ALC板	・鉄部	・亜鉛めっき	・塩ビ	・FRP	・サイディング ボード
下塗塗料 (新設時)	マイティー エポシーラー	水性マイティーシーラーマルチ		DNT ALC ファイラー	ワンツーエポ	エポニックス #90R	不要	マイティー エポシーラー	不要

## 各種旧塗膜への適応性

旧塗膜 (下地良好時)	・吹きつけタイル ・アクリル樹脂系 エナメル	・合成樹脂 調合ペイント	・合成樹脂 エマルジョン ペイント	・アクリル スタッコ	・アクリル リシン	・非水 エマルジョン	・塩化ビニル 樹脂エナメル	・アクリル艶有り (タ・ベン希釈)
下塗	<b>下塗不要</b> (下地の劣化が激しい場合は適切な下塗が必要です)							

注) 外部の塗り替えにあたっては、高圧水洗を必ず行って下さい。その他の下地についても適切な下地処理を行って下さい。表中にない下地・素材に対するの塗装適性は当社にお問い合わせ下さい。

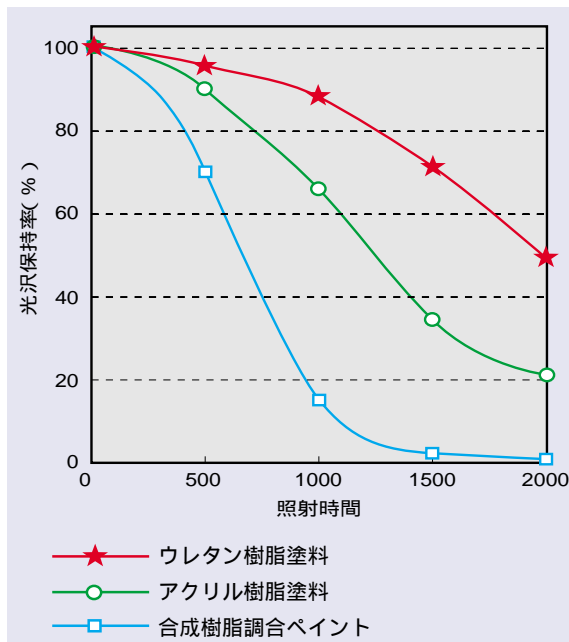
# いつまでも美しい輝きを...

## 塗料比較

性能評価:(優れる) ×(劣る)

項目	塗料の種類	Vトップー液マイルド	弱溶剤二液ウレタン塗料	アクリル樹脂エナメル塗料	合成樹脂調合ペイント	
外観	光沢(60 鏡面反射)					
	肉持ち感					
施工性	標準膜厚( )	30	25	25	25	
	乾燥時間(20 )	指触	20分	20分	10分	2時間
		塗り重ね	2時間	2時間	2時間	16時間
	塗装作業性		(2液混合)			
	厚塗り性					
補修性						
安全性	危険物表示	第2石油類	第2石油類	第1石油類	第2石油類	
	有機溶剤区分	第3種有機溶剤	第3種有機溶剤	第2種有機溶剤	第3種有機溶剤	
	TVOC配合(%)	35	40	40	25	
	鉛含有	顔料	配合せず	配合(黄・オレンジ系)	配合(黄・オレンジ系)	配合(黄・オレンジ系)
乾燥剤		配合せず	配合せず	配合せず	配合	
性能	耐候性					
	耐水性					
	耐アルカリ性				×	
	耐酸性					
	耐溶剤性	~			~	

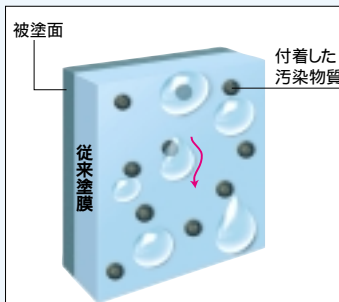
## 促進耐候性試験結果の比較



## 汚れ防止のメカニズム

塗膜表面は水になじむ親水性のため、散水や雨水等の動きはスムーズとなり、塗膜と汚染物質との間に水が入り込み易く、汚染物質を容易に浮き上がらせ、落としやすい。

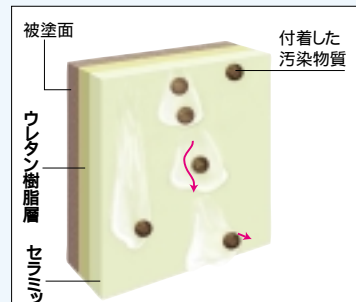
### 従来塗料



**汚染物質は除去されない**  
塗膜表面が水になじまないため、汚染物質が附着したままになる

親水性が低いと汚れが取れにくい

### Vトップー液マイルド



**汚染物質は除去される**  
汚染物質との間に水が入り込み、汚染物質を浮き上がらせる

親水性が高いと汚れが落ちやすい

# 弱溶剤一液反応硬化形ウレタン樹脂塗料 Vトッピー液マイルド

## 各種データ

### 塗料性状

項目		内容		
容姿(容量)		一液性		
荷姿(容量)		15		
色相		白、各色		
鏡面光沢度(60°)		つや有り、3分つや、5分つや		
密度(23°)	塗料	1.2以下		
	揮発分	0.8		
粘度(23°)		80~100KU		
不揮発分(%)		57~63(白、淡彩色)		
乾燥時間	温度	5	20	30
	指触	60分	20分	15分
	半硬化	2時間	40分	30分
	標準膜厚( )	30		
引火点( )		32		
発火点( )		255		
爆発限界(下限~上限)		0.7~6.0%		
貯蔵安定性(20°)	12ヶ月(12ヶ月以降は再検査)	良好		
危険物表示		第2石油類		
有機溶剤区分		第3種有機溶剤含有物		
有害物質表示				
劇物表示				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

### 塗膜性能

項目	試験条件	Vトッピー液マイルド
初期光沢	60 鏡面反射率	85
ダレ性	サグテスター	250
耐水性(10日間)	水道水浸漬	異常なし
耐アルカリ性(10日間)	飽和消石灰溶液	異常なし
温冷サイクル性	10サイクル	異常なし
高圧UV試験	3時間	75
促進耐候性	1000時間	85

### 塗装基準

項目		内容		
下地処理		素材表面の油分・汚れ・埃等を除去し、乾燥した清浄な面とする。 PH10以下、含水率10%以下		
調合方法				
熟成時間				
可使時間				
塗装方法		刷毛・ローラー・スプレー		
希釈シンナー		塗料用シンナー		
塗装方法	塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス	
	希釈率(%)	0~10	10~20	
	標準使用量	0.12// /回	0.15// /回	
	標準膜厚	30		
	ウエット膜厚	100		
塗装間隔	温度	5	20	30
	最小	4時間	2時間	1時間
	最大	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月

注1)標準使用量は、実績値に基づいて算出しました。

注2)黄系、オレンジ系の色の場合、隠ぺい性が劣ることがあります。

## 標準塗装仕様

# 新設

### 1 コンクリート・モルタル

平滑仕上げ

工程	塗料名	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 ( / /回)	塗装間隔 (20)
素地調整	有害な付着物を除去し、被塗面を清浄にする。下地の水分は10%以下、PH10以下で施工する。					
下塗り	マイティーエポシーラ -	主剤 70 硬化剤 30	エポックスシンナーA 5~10	刷毛、ローラー、 スプレー	0.14~0.17	24時間~ 7日以内
	マイティーシーラ -S		ビニローゼシンナー 50~100	刷毛、ローラー、 スプレー	0.10~0.12	2時間以上
上塗り 1層目	Vトップー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
上塗り 2層目	Vトップー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上

注)押し出し成型版等の表面が硬い場合に、マイティーエポシーラを使用して下さい。

複層塗材RE仕上げ  
(凹凸模様)

工程	塗料名	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 ( / /回)	塗装間隔 (20)
素地調整	有害な付着物を除去し、被塗面を清浄にする。下地の水分は10%以下、PH10以下で施工する。					
下塗材	DNTタイルシーラ -S		ビニローゼシンナー 50~100	刷毛、ローラー、 スプレー	0.10~0.12	2時間以上
主材基層	DNTタイルベース	主剤 19.3 硬化剤 0.7	水道水 5~10	モルタルガン	0.90以上	2時間以上
主材模様	DNTタイルベース	主剤 19.3 硬化剤 0.7	水道水 0~3	モルタルガン	1.00以上	24時間以上
上塗材 1層目	Vトップー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.15~0.20	2時間以上
上塗材 2層目	Vトップー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.15~0.20	

### 2 鉄部

工程	塗料名	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 ( / /回)	塗装間隔 (20)
素地調整	さび面は電動工具、手工具と併用して除去し、被塗面を清浄する。					
下塗り 1層目	ワンツーエポ		塗料用シンナー 5~10	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
下塗り 2層目	ワンツーエポ		塗料用シンナー 5~10	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
上塗り 1層目	Vトップー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
上塗り 2層目	Vトップー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	

## 改修

## 1 コンクリート・モルタル

平滑仕上げ

工程	塗料名	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 ( / /回)	塗装間隔 (20 )
素地調整	旧塗膜のフクレ・浮き・劣化部分・汚れなどは、高圧水洗・電動工具で除去し、清浄な面とする。					
上塗り 1層目	Vトッパー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
上塗り 2層目	Vトッパー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上

模様仕上げ

工程	塗料名	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 ( / /回)	塗装間隔 (20 )
素地調整	旧塗膜のフクレ・浮き・劣化部分・汚れなどは、高圧水洗・電動工具で除去し、清浄な面とする。					
下塗り	DNT弾性フィラー	主剤 16 パウダー 6	水道水 0~2	ローラー、 スプレー	0.50~1.20	16時間以上
	DNT弾性フィラー 一液テクト MAX		水道水 0~2	ローラー、 スプレー	0.50~1.20	16時間以上
上塗り 1層目	Vトッパー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.15~0.20	2時間以上
上塗り 2層目	Vトッパー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.15~0.20	2時間以上

注) 下地や旧塗膜にヘアークラックが多い場合は、中性化抑制としてDNT弾性フィラーを使用して下さい。

## 2 鉄部

工程	塗料名	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 ( / /回)	塗装間隔 (20 )
素地調整	さび面は電動工具、手工具と併用して除去し、被塗面を清浄する。素地露出面は、下塗りをを用いて補修塗りをする。					
下塗り (補修塗り)	ワンツーエポ		塗料用シンナー 5~10	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
下塗り	ワンツーエポ		塗料用シンナー 5~10	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
上塗り 1層目	Vトッパー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
上塗り 2層目	Vトッパー液マイルド		塗料用シンナー 0~20	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	



## 3 硬質塩化ビニル

工程	塗料名	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 ( / /回)	塗装間隔 (20 )
素地調整	被塗面に付着した油類、その他の汚れをシンナー拭きで除去し、サンドペーパーを用い目粗しを行う。					
上塗り 1層目	Vトッパー液マイルド		塗料用シンナー 0~20%	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上
上塗り 2層目	Vトッパー液マイルド		塗料用シンナー 0~20%	刷毛、ローラー、 スプレー	0.12~0.15	2時間以上

## 施工上の注意

降雨、降雪の可能性の大きい場合や高湿時にはつや引け、ブラッシング、硬化不良などが起こることがありますので、塗装は避けて下さい。  
結露などで塗装面が湿っている時は、はく離や硬化不良の原因となりますので避けて下さい。  
シンナーで必要以上に希釈しないで下さい。ダレたり、薄膜となり耐久性が不足し、はく離の原因ともなります。  
Vトッパー液マイルドを直接、鉛丹ペイント、鉛丹シンクロペイント、塩化ゴム系塗料の上には塗装できません。  
冬期など乾燥が遅れる場合は、塗料用シンナーA、又はエナメルシンナー#220を使用して下さい。  
変性シリコン等のシーリング材は、「マイティーエポシーラー白」を先行塗装して下さい。

## 使用上の注意

引火性  あり	<b>警告</b>	1. 引火性の液体である。 2. 有機溶剤中毒の恐れがある。 3. 健康に有害な物質を含有している。	有害性  あり
--	-----------	--	--

吸入したり皮ふにふれたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

**取扱い上の注意**

- 火気のない場所排気装置を設けたところで使用して下さい。
- 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。  
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、入り巻きタオル、保護手袋等。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
- 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
- よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

**緊急時の処置**

- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸込んだり気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。  
詳細な内容が必要な時は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。  
本製品の内容は予告なく変更することがあります。



# DNT 大日本塗料株式会社

### 東日本販売部

東京営業所	03-5710-4501	144-0052	東京都大田区蒲田5-13-23(蒲田シティビル)
札幌営業所	011-822-1661	003-0012	札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所	022-236-1020	983-0034	仙台市宮城野区扇町5-6-20
小山営業所	0285-24-0123	323-0025	小山市城山町2-10-14(日光堂ビル)
埼玉営業所	048-646-0541	330-0846	さいたま市大宮区大門町3-88(逸見ビル)
茨城営業所	0298-26-6144	300-0034	土浦市港町1-3-12(YHビル)
新潟営業所	025-244-7890	950-0087	新潟市東大通1-4-1(マルタケビル)
千葉営業所	043-225-1721	260-0015	千葉市中央区富士見2-7-5(富士見ハイネスビル)
横浜営業所	045-532-1631	222-0001	横浜市港北区榊町3-7-14(横浜DNTサービス(株)内)
相模営業所	046-246-1361	243-0801	厚木市上依知1043
静岡営業所	054-254-5341	420-0857	静岡市御幸町8(静岡三菱ビル)

### 西日本販売部

大阪営業所	06-6466-6618~9	554-0012	大阪市此花区西九条6-1-124
名古屋営業所	052-332-1701	460-0022	名古屋市中区金山1-12-14(金山総合ビル)
富山営業所	076-436-3666	930-0175	富山市藤海寺638(中部DNTサービス(株)富山工場内)
京滋営業所	075-595-7761	607-8085	京都市山科区竹鼻堂/前町46-8(三井生命京都山科ビル)
神戸営業所	078-391-1641	650-0037	神戸市中央区明石町48(神戸ダイヤモンドビル)
岡山営業所	086-255-0151	700-0034	岡山市高柳東町13-5
広島営業所	082-286-2811	732-0802	広島市南区大州3-4-1
高松営業所	087-831-0267	760-0056	高松市中新町12-1(徳寿ビル)
福岡営業所	092-938-8222	811-2312	福岡県粕屋郡粕屋町大字戸原字ハル142
長崎営業所	095-824-3457	850-0033	長崎市万才町6-38(長崎明治生命館)
塗料相談室	フリーコール	0088-22-1641	



この印刷物は古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています